

## 【2021年度 高大連携委員会 事業報告】(案)

高大連携委員会

委員長校 : 関西国際大学

副委員長校: 神戸松蔭女子学院大学

委員校: 関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、  
 神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、  
 園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、  
 兵庫医療大学、兵庫県立大学 計19校

## &lt;目的&gt;

「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、高校と大学の接続をめぐる多くの課題について意見交換を行い、県下の高大連携の推進を目指すとともに、地域の活性化、県内の若者人口増加のための連携事業の一環としての大学進学者の県内残留に寄与する。

## &lt;内容&gt;

「これからの時代に求められる人材を育成するための高大接続の在り方」をテーマに、加盟大学の高大連携担当者と県下の高等学校、県教育委員会で、率直な意見交換と相互理解を深める場を継続的に設けるとともに、地域の活性化、県内の若者人口増加のための連携事業の一環として高校生に対して兵庫県下の大学等のPRを継続的に行い、県内大学進学率の向上を図る。

## &lt;期待される効果&gt;

- 高大連携事業（ひょうご高校大学コンソーシアムの開催）  
 兵庫県立高等学校と設置したひょうご高校大学コンソーシアムを継続的に開催していくことにより、高大連携をめぐる多くの課題について意見交換を行うことができ、県下の高大連携についての推進がより期待される。
- 高大連携事業（兵庫県下の大学等のPR）  
 高校生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟の兵庫県内大学等のPRを行い、県内大学進学率の向上を図ることで、大学進学者の県内残留に寄与することが期待される。

実施プログラム名称		予算額
①	高大連携事業（ひょうご高校大学コンソーシアムの開催と兵庫県下の大学等のPR）	100,000円

【2021年度 高大連携委員会 事業報告①】

課題	大学進学者の県内残留と円滑な高大接続			
達成目標	県内大学等の情報提供を受けた学生数:200名(2021年度までののべ数)			
課題を解決する取組概要	高大連携事業(ひょうご高校大学コンソーシアム) 兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換会(進路指導協議会)や県内各地での合同説明会等の開催や県内大学の情報提供などを通じて、県内大学進学率の向上を図る。			
活動指標	ひょうご高校大学コンソーシアム意見交換会の年1回以上の開催 合同説明会の開催等を通じて県内大学等の情報提供の実施:3回以上(2019年度以降)			
内容 (結果)	<p><b>1、ひょうご高校大学コンソーシアムの開催</b>          &lt;日時&gt;2021年12月9日(木)13:30-16:30 &lt;会場&gt;オンライン(Zoom)          &lt;内容&gt;「探求学習」をテーマに講演・意見交換会を以下の通り、開催した。          ①演題・講師「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいか—東京の6年生私立中高の実践から—」          関西国際大学 准教授・元品川女子学院教頭 石井豊彦氏          ②大学・高等学校より「探究学習と高大連携」の取り組みに関する話題提供と意見交換を行った。          (話題提供校6校)神戸大学・関西国際大学・兵庫大学・          兵庫県立尼崎稲園高等学校・兵庫県立尼崎小田高等学校・兵庫県立三木北高等学校          &lt;参加者数&gt;計45人(内訳:加盟校教職員15校20名、高校教員17校21名、兵庫県教育委員会:1名、コンソ事務局:3名)</p> <p><b>2、兵庫県下の大学等のPR</b>  <b>1)2021年度合同進学説明会</b>          &lt;日時&gt;2021年9月18日(土)14:00~16:30 &lt;会場&gt;オンライン(Zoom)          &lt;内容&gt;大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員を対象とする講演と加盟校25校の個別説明会、奨学金ガイダンスを以下の通り、開催した。          ①演題・講師:「大学で学ぶ準備」福島一政氏(高大連携委員会委員長・関西国際大学 学長補佐)          ②加盟校・個別説明会(20分×3回)          ③奨学金等進学資金ガイダンス・仲野幸治氏(日本学生支援機構スカラシップ・アドバイザー)          &lt;参加者数&gt;計92人(内訳:加盟校教職員25校25名、高校生他67名)</p> <p><b>2)県内大学等の情報提供の実施</b>          ・大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス情報」「まなび発見マップ」掲出</p>			
新しい試み等	「大学での学び」を周知する方法として、初めてオンラインによる「合同進学説明会」を実施した。			
事業収支	収入	支出	収支	
	100,000円	131,000円	-31,000円	
自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>4段階評価については、当初計画の通りに進行しており、本プログラムは継続すべきとしている。          「大学での学び」を周知する方法として、初めてオンラインによる「合同進学説明会」を実施したが、次年度以降は内容を検討する。2016年から継続開催している県下高等学校・兵庫県教育委員会・加盟校による「ひょうご高校大学コンソーシアム」では「探求学習」をテーマに高大接続をめぐる課題・期待についての情報共有ができた。本会での成果を生かして、次年度以降のコンソーシアムにおける高大接続と教育の連携にむけた取組みをさらに進める契機とする。</p>			
	<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成          3:当初計画を達成          2:当初計画をやや下回った          1:当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき          3:本プログラムは継続しても良い          2:本プログラムの継続には改善が必要          1:本プログラムは中止すべき</p>		
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>高校と大学の接続をめぐる課題について、県下高等学校、教育委員会等と加盟校教職員が現状と課題を共有できる意見交換会の継続を期待する。          さらに今後、高校と大学における教育の連携にむけた取組みを具体的に推進いただきたい。</p>			